

山形エクセレントデザイン2013の概要

■ 目 的

本県ものづくり産業における魅力的で競争力の高い商品づくりとデザインマインド向上を目指し、県内で企画・開発・生産された優れたデザインの製品を選定・顕彰する。

■ 主 催

山形デザインコンペティション実行委員会

構成：山形県、山形市、山形県商工会連合会、山形県商工会議所連合会、
山形県中小企業団体中央会、(公財)山形県企業振興公社

会長：山形県知事 事務局：山形県工業技術センター

■ 募集対象

過去5年以内に県内で企画・開発・生産された製品（試作品を含む）を対象に募集。

B to B（法人顧客）製品を含む。

過去選定外品をリニューアルした製品の再応募も可。

※ これまでの応募点数

	① (H9)	② (H11)	③ (H13)	④ (H15)	⑤ (H18)	⑥ (H21)	⑦ (H23)	⑧ (H25)
応募点数	45	46	55	70	73	91	100	118

■ 審査委員（★は審査委員長）

- ★ 會田 雄亮 氏 東北芸術工科大学名誉教授（元学長）、愛知県立芸術大学客員教授・・・〔陶芸家〕
五十嵐治也 氏 筑波大学・東北芸術工科大学名誉教授（元デザイン工学部長）・・・〔プロダクトデザイナー〕
廣田 尚子 氏 ヒロタデザインスタジオ マネージングディレクター・・・〔プロダクトデザイナー〕
中山ダイスケ氏 東北芸術工科大学教授（グラフィックデザイン学科長）・・・〔アートディレクター〕
日野 明子 氏 スタジオ木瓜（ぼけ） 代表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〔クラフトバイヤー〕

■ 審査の視点

エクセレント デザインの ポイント	・ 自社の強み、技術、素材を活かし新たな価値を生み出している ・ 地域の生活文化に根ざし豊かな暮らしを提案している ・ これからの地域の問題解決につながる ・ 全体的に調和がとれ美しく、完成度が高い
-------------------------	--



審査の視点

【計画性】 コンセプトが優れているか。企画から生産、販売までのプロセスが明確であるか

【機能性】 機能、性能が優れているか。操作、保守、管理が容易であるか

【安全性】 安全性が十分考慮され、使いやすく親しみが持てるか

【社会性】 リサイクルなど環境への配慮がなされているか。耐久性、ユニバーサル性を考慮しているか

【市場性】 消費者のニーズに込んでいるか。品質や価値に見合った価格であるか。商品として魅力的であるか

【未来性】 豊かな未来の暮らしを拓く可能性を持っているか